

東京藝術大学音楽学部「早期教育プロジェクト」

早期教育プロジェクト2025 in 岡山

ヴァイオリン部門

2025年9月28日〔日〕 10:20 開講 岡山芸術創造劇場 ハレノワ 4F アートサロン

講師 尾池 亜美 (東京藝術大学音楽学部 准教授) / ピアノ 日下 知奈

- 10:25 受講生① モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲 第3番 ト長調 K.216
第2・3楽章
- 11:10 受講生② ザイツ：学生協奏曲 第5番 ニ長調 Op.22 第1楽章
- 11:55 受講生③ モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲 第4番 ニ長調 K.218 第1楽章

* * *

- 13:30 受講生による発表会
- 14:05 藝大生による演奏披露 ヴァイオリン：谷山 知由
(東京藝術大学4年)
- ブラームス：ヴァイオリンソナタ 第1番 ト長調 Op.78
クライスラー：愛の喜び
- 14:40 講評・質問タイム

※公開レッスンを受講するお子様（小・中学生）のプライバシー保護の観点より、
関係者（保護者・取材）および本学公式スタッフ以外の会場内での録音・録画および写真撮影は、固くお断りいたします。

早期教育プロジェクト2025 in 岡山

藝大と地域とが協働して取り組む、逸材発掘プロジェクト。2014年度に文部科学省国立大学機能強化事業の一環として始まり、藝大教員が日本各地に赴いて、子どもたちにレッスンをを行います。

東京藝術大学音楽学部「早期教育プロジェクト」は、音楽家を目指そうという子どもたちの夢を応援することを目的に2014年度に始まりました。全国のホールや自治体、さまざまな団体の皆さまに支えられ、また2018年度からは全日本空輸株式会社様からのご支援もいただき、本学の教員が全国各地を訪れています。12期目となる2025年度は8都市での開催を予定しています。少子化や経済的理由による芸術家の道を歩む若者が減少し、しかもかなり早い段階で夢を断念してしまうという状況は簡単には変わるものではありません。しかし各地で子どもたちの瑞々しい感性とスポンジのような吸収力、来場した皆さまの音楽への熱量に触れるたびに、互いに刺激し合い音楽を深めることの意義を感じています。このプロジェクトが一つのきっかけとなつて、夢へ向かう気持ちや音楽することの喜びが地域にいつそう広がることを心から願っています。

東京藝術大学音楽学部長 杉本 和寛

講師

尾池 亜美 (おいけ あみ)



©武藤章

東京藝術大学附属高校、同大学を卒業後渡欧。ローザンヌ高等音楽院、英国王立北音楽院、グラーツ芸術大学に学ぶ。現在東京を拠点に、オーケストラとの共演や様々な編成の室内楽、作曲家との協働等に力を注ぐ。2025年度より東京藝術大学准教授。

マンチェスター国際ヴァイオリンコンクール優勝、委嘱作品最優秀演奏賞。カール・フレッシュ国際ヴァイオリンコンクール第2位。日本音楽コンクール第1位、岩谷賞（聴衆賞）ほか受賞。江藤俊哉ヴァイオリンコンクール優勝ほか受賞多数。アジア、欧州各地にてリサイタルを開催。

録音作品にEnsemble FOVEと共作の「ZINGARO!!!」、バッハとバルトークの無伴奏作品集「A」他。amioike.art

ピアノ

日下 知奈 (くさか ちな)



©武藤章

ケルン音楽大学を首席で卒業。東京藝術大学大学院修了。

第14回園田高弘賞ピアノコンクール第3位、併せてメシアン賞受賞。数々のコンクールで入賞。第3回東京音楽コンクール第3位。2007年バロックザール賞受賞。

2009年摂津音楽祭、2019年日本演奏家コンクール伴奏者賞受賞。

2021年日下紗矢子とのシューマンヴァイオリンソナタ全曲演奏会では雑誌「音楽の友」にて批評家が選ぶコンサートベストテン、また「忘れがたいこの一曲」の一つに選出された。

2023年からは若手演奏家を紹介する室内楽シリーズを開催。

国内各地で室内楽奏者として幅広く活躍している。

東京藝術大学弦楽科伴奏助手、国立音楽大学附属高等学校・中学校講師。

藝大生による演奏

谷山 知由 (たにやま しゅう)



4歳にヴァイオリンを始める。大阪府立夕陽丘高校音楽科を経て、現在東京藝術大学4年に在学中。2013年～2022年まで相愛ジュニアオーケストラに在籍。第20回関西弦楽コンクールにて優秀賞、審査員賞受賞。第11回岐阜国際音楽祭コンクール第3位受賞。第41回霧島国際音楽祭マスタークラス受講。小澤征爾音楽塾生としてセイジ・オザワ松本フェスティバル2023に参加。天下統一アンサンブル・アカデミー2023、2024に参加。これまでに、本多智子、池川章子、上敷領藍子、尾池亜美、沼田園子の各氏に師事。